

# 日新 / SSR形 順序継電器

本器は、主として電力用コンデンサ群の自動制御に使用される順序継電器で、機器の開閉を一定方向の順序で行ない、電氣的、機械的損耗を特定の機器に集中することなく数群の機器を均等に使用する、いわゆる単方向順序制御方式に用いるドラム形の継電器です。

電力用コンデンサはもとより、複数個の機器を1組の主制御継電器によって共通に制御する場合に用いて独特の効果を発揮します。



第1図 SSR-4形順序継電器（固定形）

## ■ 定 格

形 式	定 格	接 点	周 波 数	備 考
SSR-4	110 V または 220 V	4 群用, 1 回転 60sec (2 順)	50 Hz または 60 Hz	固 定 形
SSR-8	110 V または 220 V	8 群用, 1 回転 120sec (2 順)	50 Hz または 60 Hz	固 定 形

注) 重量は、SSR-4形は約 4 kg, SSR-8形は約 6 kg です。

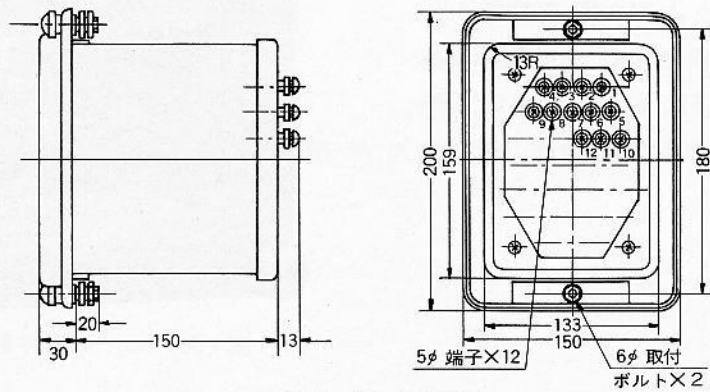
## ■ 構造と動作

本器は、小形同期電動機によって駆動されるドラム形継電器で、ドラム上には第3図(a)のように接点が配置されています。図は3群制御用の接点配置を示しますが、I、II、IIIはそれぞれ第1、2、3群を制御すべき接点、Hは保持接点を示します。また、これ等の接点がどのように使われるかについて第3図(b)により概要を説明しますと、まず主制御継電器が動作すれば、その接点(c)により電動機Mを起動し、ドラムがhの角度だけ回転してHが閉路します。

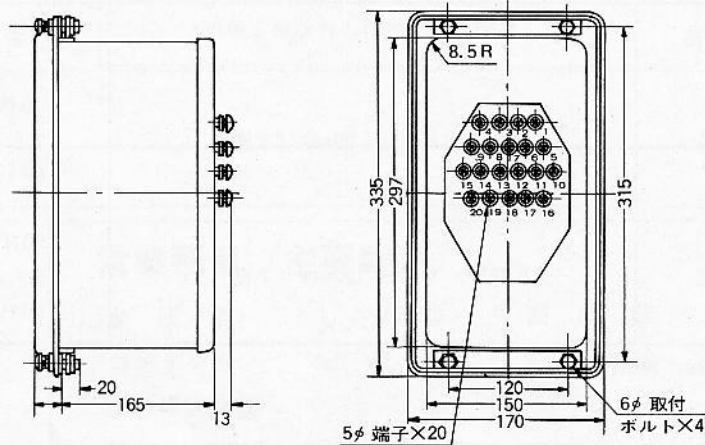
H接点を主制御継電器の接点と並列につないでおくと、Hが閉路することにより、Mの動作はこの接点を通じて

行なわれることになり、主制御継電器が回路の条件によって非常に不確実な接触状態にあったとしても以後、Mの回転はH接点により確保されます。Hが確実に接触してから、わずかに遅れて接点Iが閉じ、この接点により第1番目の機器を制御します。接点I、II、IIIの接触時間は一般機器たとえば、しゃ断器や開閉器を操作するに十分な時間だけ接触を保つように選んであります。接点Iが接触を終ると $\delta$ だけの時限を経て接点Hが開きます。

この時限 $\delta$ は主制御継電器が主回路の状態に応動して、接点を開くに要する時間よりも長く選んであり継続動作を防止します。



SSR-4形 (固定形)



SSR-8形 (固定形)

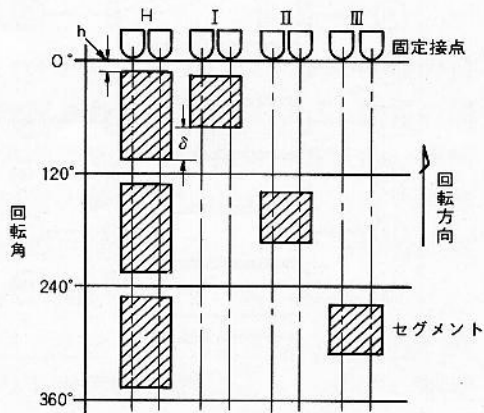
第2図 外形寸法図

第4図にはコンデンサ群の自動制御用として、他方式の追従できない効果をもつ単方向順序制御方式といわれる制御回路の一例を示します。この回路において投入指令、しゃ断指令のいずれにもMは同一方向の回転を行なうのみで、したがっていかなる不規則な投入、しゃ断指

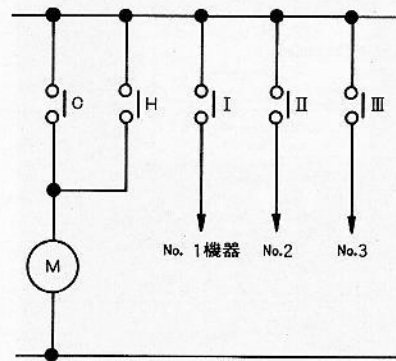
令にも、各群を平等に使用していく状態がよくわかりま

す。

標準として下記の2種類を製作しています。  
 2～4群制御用 SSR-4形  
 5～8群制御用 SSR-8形

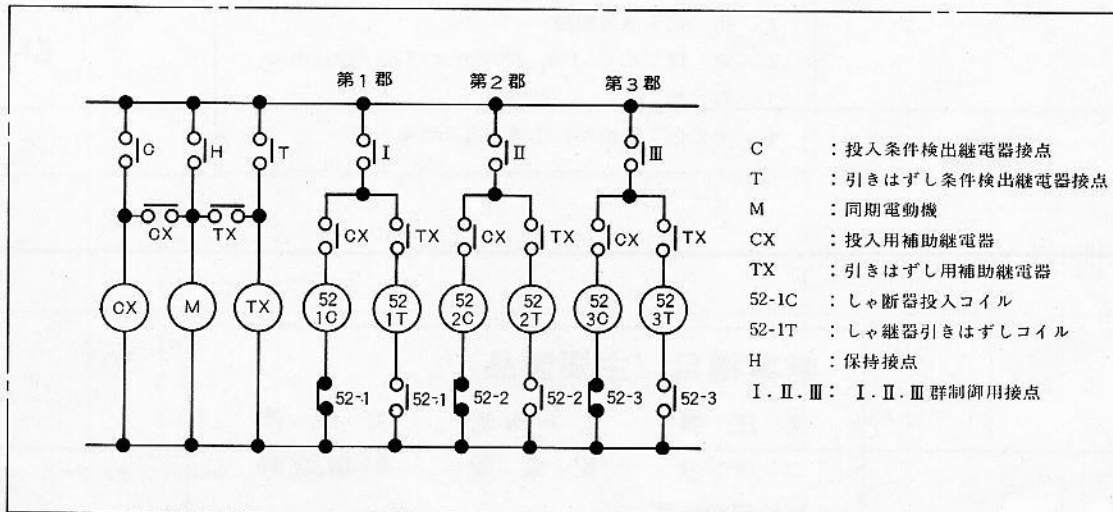


(a) 接点配置図

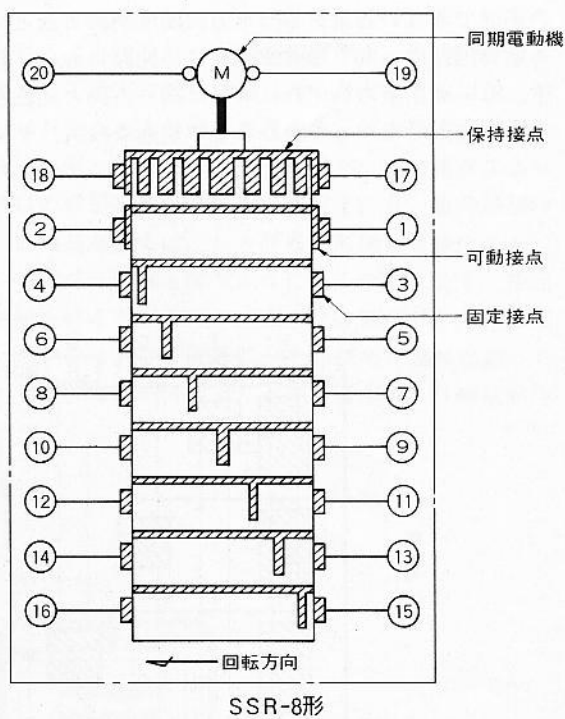
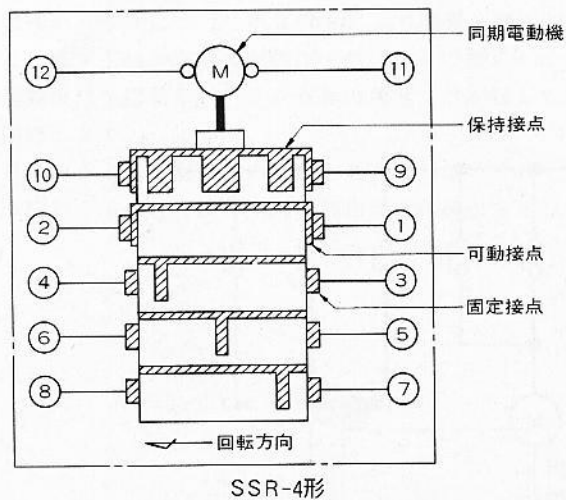


(b) 操作概要

第3図



第4図 単方向順序制御回路結線図



第5図 内部接続図

—ご注文に際しては次の事項をご指定ください—

1. 用途：使用回路
2. 定格：A. C. 110, 220Vおよび 50, 60Hzの別
3. 群数：\_\_\_\_\_群用
4. その他：標準外の仕様がある場合

**営業種目 (主要製品)**

変圧器	しゃ断器	変成器
コンデンサ	配電盤	制御機器
試験研究装置		

